

町政懇談会 会議録

1. 開催日時

平成22年9月1日(水) 午前10時00分～午前11時30分

2. 対象地区・団体

弥生自治区

3. 代表者名

弥生自治区長 佐藤朝美 (参加者数：9名)

4. 開催会場

弥生集会所

5. 町出席者

町長 伊藤 勝・副町長 和田正孝・建設水道課長補佐 五十嵐和典

企画情報課長 杉原徳夫・同課広報広聴係長 鈴木洋祐

6. 町政方針説明

町民の皆さんの声を聴く機会として、このように懇談会を開催しており、今後の町づくりや生活に密着した内容について意見交換を行っている。その中で「できるもの」「検討していくべきもの」、そして「すぐにやらなければならないもの」について集落の実態などを把握し、生活に多少の不便さがあっても、ここに住んで良かったと思えるような地域づくり・町づくりを進めていきたいと考える。

私の町づくりの考え方には、魅力ある豊かな自然を前面に打ち出した取り組みをしていきたいという思いがある。飯豊山から使者としてのイメージキャラクターを創ったのもこういった取り組みのきっかけであり、これを機に皆さんが気持ちをひとつにして、町づくりを考えていこうという気運が高まればと願っている。

私は、町は地域の皆さんが安心して暮らせる環境を提供していくことが大切であると考えている。例えば、公共交通体系の見直し時点で、町民バスはすべての集落において運行されるべきことであったと思っている。満足のいく内容ではないにせよ実施することが重要である。私たちの町は合併をしない町づくりを選択したわけであるが、このことで今後本町が衰退をしていくことがあってはならないと考える。今後の町づくりにおいては、町が行うこと、地域の皆さんが行うことをそれぞれに担いながら、より良い地域づくりを進めていきたいと考える。

7. 意見交換

(町長) 一人暮らしの世帯は何戸あるのか。

(区 長) 現在9戸あるうち、7戸が一人暮らしである。

(意 見) 集落の上に水道施設があるが、大雨が降るとそこにつながる道路の泥や砂利が流れてくるため、コンクリート打ちなどの対策をお願いしたい。延長にして、200メートルくらいある。

(町 長) 区長さんと現地確認して、担当課で検討します。当地区では、農地・水・環境保全向上対策事業には取り組んでいるのか。

(区 長) 非常に大切な事業だと思っているが、集落として取り組むのは不可能である。花植えでさえできる余裕もない。人足作業は年に数回、週末などに近隣市町村に住んでいる子どもたちに帰ってきてもらい実施している状態である。

(町 長) 空き屋の状況はどうか。

(区 長) 以前は4戸あったが、2戸は取り壊してしまった。かつての弥生集落は13戸あり、分校も設置されるほどにぎやかな集落であった。

(意 見) 子どもたちは、ほとんど喜多方市や会津若松市などに家を建てて住んでいる。いずれは一緒に住むことになるかと思うが、自分のことができるうちはここで生活したいと思っている。

(町 長) 子どもたちの家などへの行き来はあるのか。

(区 長) 頻繁に行き来している。昨日居たのかと思えば、今日は息子さんのところに行ったなどという状態である。今日は事前に話をしていたので、ほぼ全員が揃ったという次第である。

(事務局) 生活する上で困っていることは何か。

(区 長) やはり人足などの集団作業に苦慮している。とはいえ資材など提供してもらえれば、簡単な舗装整備などは集落で対応したい。

(町 長) 町道整備は町で対応する。特に危険が伴う作業については、自ら対処せずに町に連絡してもらいたい。

(区 長) 鏡山につながる道路についてであるが、登山客が結構来るが道路が悪く引き返す人も多く見受けられる。昔は農作業やホダ木を運搬するために作業道として利用もしていた道路である。今となれば登山道のみではないかといわれてしまうが、整備をすべきではないかと思う。

(建設水道課長補佐) 道路の先に駐車場スペースがないため、その候補地として2箇所ほど確認している。そのうち奥にある場所は国有林内となり、国との協議が必要となる。この道路は併用林道として町道管理を行っているが、今話題となっているのはその先の箇所と思われる。

(町 長) 車両通行不可などを明確に表示する看板を設置することも大切であり、今後山の会などとの打合せを行って対処していきたい。

(事務局) 町民バスの運行について何か意見はあるか。

(意 見) 毎月1回くらい通院しているが、町民バスの運行曜日があわず利用したことがない。バスの

運行日にあわせて主治医を代えるなど検討してみてもはと言われたが、できればそうしたくない。

(事務局) 買い物などはどのようにしているのか。

(区 長) 移動販売車が来てくれるので、困ることはない。月曜日と土曜日が町内業者、水曜日が新潟県の業者が来ている。さらに町内業者は必要なものを連絡しておけば持ってきてくれる。

(意 見) 以前は家で食べる野菜なども作っていたが、何を作っても二ホンザルの群れが来て食べられてしまうので、耕作意欲もなくなってしまった。

(区 長) 昔は、この地区でも見たこともなかったが、山林伐採などが進んで現れるようになったのではないか。最近は、畑作も減ってきたのでサルも出てこなくなるのではないか。話を良く聞くとツキノワグマはほとんど見かけない。

(事務局) 冬の雪の処理はどのようにしているのか。

(意 見) 気長に毎日やるしかない。最近は雪の量も少なくなってきたといわれるが、やはり多い。冬の間だけでも息子や娘の家で過ごすことも考えたことはあるが、屋根の雪が心配で冬こそ出て行くことは難しい。

(区 長) 除雪車両による除雪作業は、私が請け負ってやっている。他にやる人もなく、また慣れないとあまりやりたがらない難しい路線でもある。

(町 長) 除雪などの対応が難しいとなれば、町に話をしてもらえれば対応は検討できるので知らせてもらいたい。

(事務局) 今までに、社会福祉協議会などから除雪に対してのボランティア派遣などの要望はないかなど、声をかけられたことなどはあるか。

(区 長) そのようなことはなかったと思う。できることなら、お願いしたい住民は多いと思う。

(町 長) 健康体操指導などについて出張して実施しているなどということはないか。なければ、今後検討する必要があるかと思う。

弥生地区で生活していくことには、不自由を感じることもあると思うが、町としてはしっかり支援をしていきたいと考えている。

～ 以 上 ～